

(N-S)

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{\partial u}{\partial t} - \nu \Delta u + u \cdot \nabla u + \nabla p = f, \\ \operatorname{div} u = 0, \\ u|_{t=0} = a. \end{array} \right. \quad x \in \mathbb{R}^n, t > 0,$$

乱流場と非線形構造

— 数学と流体力学の融合を目指して —

日時: 2010年4月24日 (土) 13:00~17:30

場所: 東北大学 数理科学記念館 (川井ホール)

プログラム

- 13:00~13:10 オープニング
- 13:10~14:00 前川泰則 (神戸大学大学院理学研究科)
「Burgers 渦の数学的研究における最近の進展について」
- 14:10~15:00 柳澤 卓 (奈良女子大学大学院人間文化研究科)
「ベクトル場の分解定理とその流体力学への応用」
- 15:30~16:20 松本 剛 (京都大学大学院理学研究科)
「高密度変動のある非圧縮乱流」
- 16:30~17:20 石原 卓 (名古屋大学大学院工学研究科)
「乱流の計算科学 -高レイノルズ数乱流の現象論-」
- 17:20~17:30 クロージング
- 18:30~ 懇親会

- 組織委員: 金田 行雄 (名古屋大学大学院工学研究科)
小菌 英雄 (東北大学大学院理学研究科)
- 主催: 名古屋大学大学院工学研究科附属計算科学連携教育研究センター

